

令和7年度行政評価（令和6年度対象）シート

政策 6 豊かなところとからだをはぐくむまちをつくる

施策 601 生涯学習の充実

主担当課： 生涯学習課

○施策の目指す姿

生涯学習に関する講座と情報発信が充実し、学びを通じて広く市民によるこびや生きがいがはぐくまれています。

○施策の展開

- 生涯学習講座の開催
- サタデーキッズクラブの開催
- 生涯学習を担う地域人材の育成・活用
- 平和学習の機会提供
- 公民館等の整備・管理
- 地域に根ざした図書館づくり

I 達成度指標の状況

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を達成できず・・・▲、現状値を把握していない・・・

達成度指標		基準値	後期計画 目標値	実績値			目標値の 達成状況
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	
(1)	市民満足度調査における満足度	24.6% （平成30年度）	↗ （令和5年度）	—	30.7% （令和5年度）	—	◎
(2)	生涯学習講座の参加者満足度	97.9% （平成30年度）	→ （令和6年度）	97.0% （令和4年度）	95.0% （令和5年度）	94.1% （令和6年度）	▲
(3)	図書館の来館者数	194,403人 （平成30年度）	200,000人 （令和6年度）	155,741人 （令和4年度）	182,185人 （令和5年度）	165,408人 （令和6年度）	▲
(4)							
(5)							
(6)							

後期計画期間の 達成状況の分析	(1)	生涯学習講座については講座修了後に受講者が記入するアンケートをもとに市民のニーズを把握し、講座内容を定期的に見直しで企画・運営をしているため、満足度が高い数値に留められているものと推測する。また、施設予約システム及び講座予約システムの導入により、インターネット上で申込み等ができるようになることから、利便性の向上により、市民満足度が一層高まることが期待される。
	(2)	生涯学習講座アンケート調査結果では、全ての講座において講師が丁寧に教え、学びたいという気持ちへしっかりと対応したため、満足度が高かったと推察する。
	(3)	市立図書館は大規模改修工事により、4/20～7/31が2階部分、8/31～11/15が1階部分を閉鎖した。そのため、来館者数は前年比90.3%と前年を下回る結果となったが、1・2階が閉鎖中も閉鎖部分の資料の一部を1F情報展示ギャラリー、交流テラスに展開し利用者サービスの維持に努め、来館者数、貸出者数、貸出点数を前年比90%程度に留めることができた。
	(4)	
	(5)	
	(6)	

<達成度指標の関連データ>

図書館来館者数（人） ※清須市調べ	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	98,279	129,461	155,741	182,185	165,408
生涯学習講座の延べ参加者数（人） ※清須市調べ	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
	905	1,017	1,588	1,481	1,225

II 事務事業評価

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を下回る・・・▲

事業名		決算額（千円） 〔執行率（％）〕		活動指標①			活動指標②		
		令和5年度	令和6年度	R6目標値	R6実績値と達成状況		R6目標値	R6実績値と達成状況	
生涯学習推進費		1,219 [86.1]	1,060 [87.1]	生涯学習講座の講座数（講座）			サタデーキッズクラブの講座数（講座）		
				22	20	▲	13	14	○
事業の有効性の評価		市民のニーズを踏まえて、多種多様で質の高い生涯学習講座及びサタデーキッズクラブを開催することにより、市民に充実した生涯学習環境を提供することができる。また、講座を通じて、地域づくりに貢献する人材の育成とともに、子どもの郷土文化に対する理解等を深めることができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	生涯学習講座の開催にあたって、需要が少ないものについては随時見直しを行っており、今後も近隣市町及び民間の状況を鑑み、講座の内容を検討する。							
	②	地域の人材の協力を得て、子どもたちの土曜日の居場所づくり事業として展開しており、今後も講座内容を市民のニーズに合わせるなど質の向上に努める。							
平和祈念式開催費		760 [90.7]	838 [99.9]	平和祈念式の参加者数（人）					
				300	170	▲			
事業の有効性の評価		8月の平和月間に平和祈念式等を行うことにより、平和の尊さを再認識し、恒久平和を祈念する。							
活動指標の 達成状況の分析	①	遺族の減少、遺族会に加入する人の減少により、平和記念式に参加する人も年々減少している。年々の気温上昇により猛暑であるが、8月は平和月間として、全国的に平和への意識が高まる時期であり、今後も周知啓発に努める。							
	②								
平和学習推進費		1,192 [88.0]	1,299 [89.0]	広島平和記念式典への参加児童数（人）					
				24	24	○			
事業の有効性の評価		市立小学校6年生児童の代表者を広島平和記念式典へ派遣することにより、命の大切さ、平和の尊さを学ぶことができる。また、平和を願う書道作品や折り鶴の作成により、市内すべての児童、生徒が平和の尊さについて学ぶことができるとともに、書道作品及び折り鶴を清洲市民センターに展示することで市民に平和を啓発することができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	申込者は24人を超えており、児童の平和学習への関心度は高いことが推定できるので、引き続き、学校と連携を取って平和学習の推進に努める。							
	②								
夢広場はるひ費		294,967 [99.8]	395,671 [99.9]	図書館の蔵書数（冊）			図書館で開催する各種イベントの参加者数（人）		
				152,000	170,943	◎	2,600	2,950	◎
事業の有効性の評価		指定管理者の持つノウハウを活用して市立図書館を運営することにより、積極的な情報発信を通じて市民の図書館利用が促進されるとともに、様々な工夫をした企画の実施や蔵書の充実などにより、市民に充実した生涯学習環境を提供することができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	蔵書数は目標値に達しているが、徐架及び除籍の労力が増えている実情を踏まえ、電子図書館やデータベースの動向を調査し、研究を進める必要がある。							
	②	子どもから高齢者、親子で参加できるものなど幅広い利用者に対応したイベントを企画することで目標を達成することができた。							

III 施策の評価と今後の方向性

- 今後も市民ニーズの変化を的確に捉えて、生涯学習講座のコース設定等に努めていく。市民に知識や技術を伝えたい個人や団体に登録いただく「生涯学習人材バンク」の登録者は微増しており、引き続き生涯学習を担う地域人材の発掘や活用に取り組んでいく。また、「生涯学習人材バンク」の活用件数が少ないため、生涯学習講座などの機会を捉えて周知に努める。平和祈念式等を行うことにより、平和の尊さを再認識し、市民の平和意識の高揚を図るため、引き続き実施する必要がある。
- 学校と連携を取って、引き続き各種平和推進事業を実施する。広島平和記念式典への派遣についても引き続き継続し、現地で学ぶことができる機会の充実を図っていく。
- 市立図書館は大規模改修により1・2階の部分閉鎖など利用制限を行ったが、指定管理者の他館での経験やノウハウを活かし、前年比約10%程度の利用減少に留めることができた。今後は一層、学校図書、ボランティア、外部施設・団体、地元企業との連携を強化し、より多くの市民が利用する図書館を目指していく。併せて電子図書館の調査・研究を引き続き進める。
- 公民館を含む社会教育施設について、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設マネジメントの推進とあわせて、民間活力の活用についても検討していく。

-

令和7年度行政評価（令和6年度対象）シート

政策 6 豊かなところとからだをはぐくむまちをつくる

施策 602 文化・芸術活動の振興

主担当課： 生涯学習課

○施策の目指す姿

文化や芸術にふれる機会が充実し、市民が生活の潤いや心の豊かさを実感できています。

○施策の展開

- 1 芸術劇場等の開催
- 2 地域の歴史・文化の啓発
- 3 文化・芸術活動を行う団体への支援
- 4 魅力ある美術館づくり
- 5 絵画トリエンナーレの開催

I 達成度指標の状況

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を達成できず・・・▲、現状値を把握していない・・・

達成度指標		基準値	後期計画 目標値	実績値			目標値の 達成状況
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	
(1)	市民満足度調査における満足度	23.1% （平成30年度）	↑ （令和5年度）	—	31.4% （令和5年度）	—	◎
(2)	美術館の来館者数	10,902人 （平成30年度）	17,000人 （令和6年度）	9,027人 （令和4年度）	17,820人 （令和5年度）	15,895人 （令和6年度）	▲
(3)							
(4)							
(5)							
(6)							

後期計画期間の 達成状況の分析	(1)	市内にある美術館での美術鑑賞や例年開催している芸術劇場の開催、市文化協会の芸能発表会など文化や芸術に触れる機会が充実していたため市民満足度が高かったと思われる。
	(2)	来館者数としては、作品燻蒸や停電による作業で、開館日数が昨年より少なかったのもあり前年を下回ったが、特に特別展では子どもから大人まで様々な世代の方が楽しめる展覧会となり、家族連れを中心に集客がみられた。
	(3)	
	(4)	
	(5)	
	(6)	

<達成度指標の関連データ>

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
美術館来館者数（人） ※清須市調べ	23,378	9,321	9,027	17,820	15,895
トリエンナーレ応募者数（人） ※展覧会開催年 ※清須市調べ	第8回（平成27年度）	第9回（平成30年度）	第10回（令和3年度）		
	506	637	370		

II 事務事業評価

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を下回る・・・▲

事業名		決算額（千円） 〔執行率（％）〕		活動指標①			活動指標②		
		令和5年度	令和6年度	R6目標値	R6実績値と達成状況		R6目標値	R6実績値と達成状況	
文化活動費		5,142 [99.9]	5,344 [99.0]	芸術劇場の観覧者数（人） 300 281 ▲			芸能発表会の観覧者数（人） 600 600 ○		
		事業の有効性の評価 芸術劇場や芸能発表会、文化展、納涼盆踊りなど、市民に優れた文化・芸術鑑賞の機会を提供するとともに、各種市民団体の発表の場づくりを行うことにより、市民の文化・芸術活動の振興を図ることができる							
活動指標の 達成状況の分析		①	目標値をやや下回る観覧者数となったが、集客層は子どもから高齢者まで幅広く、多くの方が楽しめるコンサートとなった。						
		②	例年並みの観覧者数は達成している。清須市文化協会などの市民団体と協力して事業を実施することにより、効率的な事業実施に努めている。						
文化協会補助金		1,743 [100.0]	1,584 [100.0]	文化協会の会員数（人） 720 720 ○			文化協会の加盟クラブ数（団体） 69 65 ▲		
		事業の有効性の評価 清須市文化協会の活動を支援することにより、市民の自主的な文化・芸術活動を促進し、清須市の芸能文化の発展に寄与する。							
活動指標の 達成状況の分析		①	目標値は維持しているものの、会員の高齢化が進み。会員数は年々減少している。若い世代が文化・芸術にふれる機会づくりを積極的に行うことにより、文化・芸術活動を担う若い人材を育てる必要がある。						
		②	会員数減少に伴い、団体数も減少しており。若い世代が文化・芸術にふれる機会づくりを積極的に行うことにより、文化・芸術活動を担う若い人材を育てる必要がある。						
夢広場はるひ費		294,967 [99.8]	395,671 [99.9]	美術館の収蔵点数（点） 238 235 ▲			展覧会の開催回数（回） 6 5 ▲		
		事業の有効性の評価 指定管理者の持つノウハウを活用してはるひ美術館を運営することにより、魅力のある企画展の開催やそれに伴うイベントの実施などにより、市民が良質な芸術を鑑賞できる機会を提供することができる。							
活動指標の 達成状況の分析		①	寄贈に関する相談や依頼にできる限り対応し調査を行い受け入れをした。令和6年度においては受け入れを精査した結果、目標値には至らなかった。今後においても精査し、受け入れの判断を行っていく。						
		②	展覧会に関しては、例年開催していたアーティストシリーズにかわる企画展として、公募展受賞者の継続的な紹介を含め検討中である。						
事業の有効性の評価									
活動指標の 達成状況の分析		①							
		②							

III 施策の評価と今後の方向性

- 市民に優れた文化・芸術に触れる機会を提供するとともに、文化団体の育成などを通じて、文化活動の成果の発表機会の充実を推進しているものの、文化団体は高齢化が進んでいることから、今後も各種イベントを通じて、若者・子どもを含めた市民が身近に文化・芸術に触れる機会を積極的に提供していく。
- 芸術劇場や各種文化イベント、はるひ美術館で開催する企画展や講座など、市広報等を活用し積極的に情報発信し、参加者や文化協会の加盟者の維持・増加に努める。
- はるひ美術館展覧会においては、今後も多くの市民が親しみやすいものから専門性の高いものまで幅広く取り入れながら美術館の価値を高めていく。また、ひきつづき美術作品と芸術表現、及び国内外美術館の動向を調査研究しながら魅力ある展覧会と教育普及活動の実施に還元し、地域の文化振興に努める。

令和7年度行政評価（令和6年度対象）シート

政策 6 豊かなところとからだをはぐくむまちをつくる

施策 603 文化財保護の推進

主担当課：生涯学習課

○施策の目指す姿

市内に存在する文化財の保存と活用が適切に行われ、地域の歴史・文化が継承・発信されています。

○施策の展開

- 文化財の適切な保護
- 文化財保護の啓発
- 歴史資料の公開・展示
- 指定文化財の修理等への支援
- あいち朝日遺跡ミュージアムとの連携

I 達成度指標の状況

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を達成できず・・・▲、現状値を把握していない・・・

達成度指標		基準値	後期計画 目標値	実績値			目標値の 達成状況
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	
(1)	市民満足度調査における満足度	23.7% （平成30年度）	↑ （令和5年度）	—	32.0% （令和5年度）	—	◎
(2)	歴史資料展示室の来場者数	15,772人 （平成30年度）	20,000人 （令和6年度）	9,597人 （令和4年度）	14,112人 （令和5年度）	9,621人 （令和6年度）	▲
(3)							
(4)							
(5)							
(6)							

後期計画期間の 達成状況の分析	(1)	文化財に関する講座等は受講者に大変好評であること、指定文化財に対する適切な補助、あいち朝日遺跡ミュージアムが令和2年にオープンし、様々な企画展やイベントを実施、また県とも連携し、ミュージアムとの共催事業を行っていることなどが満足度調査に現れていると思われる。
	(2)	歴史資料展示室の来場者数は、図書館大規模改修工事の影響で4ヶ月休室しており、来場者数は減少したものの、休館期間を勘案するとほぼコロナ禍以前の来場者数に回復していると考える。
	(3)	
	(4)	
	(5)	
	(6)	

<達成度指標の関連データ>

歴史資料展示室来場者数（人）※清須市調べ	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	5,835	7,583	9,597	14,112	9,621
文化財講演会の参加者数（人）※清須市調べ	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
	30	—	34	51	61

II 事務事業評価

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を下回る・・・▲

事業名		決算額（千円） [執行率（％）]		活動指標①			活動指標②		
		令和5年度	令和6年度	R6目標値	R6実績値と達成状況		R6目標値	R6実績値と達成状況	
文化財保護事業費		188	718	文化財講座の開催回数（回）			文化財講演会の参加者数（人）		
		[81.0]	[96.6]						
事業の有効性の評価		市内全域に存在する様々な文化財を保護するとともに、文化財講座などの啓発事業を実施することにより、市民が郷土の文化財の素晴らしさを再認識し、地域の歴史や文化に対する理解や文化財保護の意識を高めることができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	全4回の講座を開催し、定員を上回る申し込みがあり、文化財保護の啓発に寄与することができた。							
	②	目標値には及ばなかったが、講演会の内容が朝日遺跡に関する内容で、郷土の文化財の周知・啓発に寄与することができた。							
歴史資料展示室費		1,422	1,227	企画展の開催日数（日）					
		[97.0]	[96.0]						
事業の有効性の評価		燻蒸の実施など、適切な保存を行うことにより、歴史資料の劣化を防止することができる。また、歴史資料展示室において企画展を開催し、市民が歴史資料にふれる機会を提供することにより、市民の文化財に対する関心を高め、地域の歴史・文化の継承につなげることができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	開催日数が目標値未達成なのは図書館大規模改修工事の影響で4ヶ月休室したためであり、それに伴い今年度は企画展が2回の開催となったものの大変好評で、市の歴史・文化を市内外に発信することができた。							
	②								
指定文化財補助金		9,823	4,217	指定文化財の修理に対する補助件数（件）			指定文化財の管理に対する補助件数（件）		
		[97.5]	[80.8]						
事業の有効性の評価		指定文化財の修理、管理、公開、保存施設整備に係る費用に対して補助金を交付することにより、指定文化財を適切な状況で維持することが可能となり、貴重な文化資源の保存・継承が図られ、市の歴史・文化を市内外に発信することができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	市指定文化財の修理について、要望のあった3件の所有者に対し補助を行い指定文化財の修理を実施することで文化財を適切に保存・維持することができた。							
	②	市指定文化財の管理について、要望のあった13件について所有者に補助を行い、指定文化財の適切な管理に寄与することができた。							
事業の有効性の評価									
活動指標の 達成状況の分析	①								
	②								

III 施策の評価と今後の方向性

- 文化財に関する講座等は受講者に大変好評だったことから、引き続き県文化財室など他機関と連携して文化財講演会・講座を開催し、郷土の歴史・文化の発信や郷土愛の高揚を図る。
- 今後も資料の適切な保全を図るとともに、市民に郷土の歴史・文化に触れる機会を提供するため、歴史資料展示室で企画展を開催する。
- 指定文化財を適切な状況で維持することで、貴重な文化資源の保存・継承が図られ、市の歴史・文化を市内外に発信することができるため、引き続き補助金を交付し、指定文化財の保全を図る。
- 令和2年度にオープンしたあいち朝日遺跡ミュージアムについて、地元として県と一体となって盛り上げるため、ミュージアムと連携し、朝日遺跡の紹介やミュージアムの周知を目的に、文化財講座や歴史講演会・ミニシンポジウム（共催事業）を実施した。今後も文化財講座や講演会等を活用し、県と連携して朝日遺跡やあいち朝日遺跡ミュージアムの積極的な周知を図る。

令和7年度行政評価（令和6年度対象）シート

政策 6 豊かなところとからだをはぐくむまちをつくる

施策 604 スポーツ・レクリエーション活動の振興

主担当課： スポーツ課

○施策の目指す姿

スポーツ・レクリエーションの普及と振興を通じて、健康で豊かな市民生活がはぐくまれています。

○施策の展開

- 1 スポーツの普及に向けた取組の推進
- 2 市民体育祭等の開催
- 3 清須ウオークの実施
- 4 スポーツ活動を行う団体への支援
- 5 総合型地域スポーツクラブへの支援
- 6 スポーツ・レクリエーション施設の管理・運営

I 達成度指標の状況

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を達成できず・・・▲、現状値を把握していない・・・

達成度指標		基準値	後期計画 目標値	実績値			目標値の 達成状況
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	
(1)	市民満足度調査における満足度	26.3% （平成30年度）	↑ （令和5年度）	—	22.3% （令和5年度）	—	▲
(2)	週1回以上スポーツ・レクリエーション活動を行っている市民の割合	20.0% （平成30年度）	↑ （令和5年度）	—	23.4% （令和5年度）	—	◎
(3)	総合型地域スポーツクラブの会員数	361人 （平成30年度末）	500人以上 （令和6年度末）	335人 （令和4年度末）	367人 （令和5年度末）	316人 （令和6年度末）	▲
(4)							
(5)							
(6)							

後期計画期間の 達成状況の分析	(1)	事業のマンネリ化や施設環境への不満が現れていると推察する。昨年度はアルコ清洲並びにカルチバ新川等の大規模修繕を行ったため、今後は施設利用者を増加させるためのPRと市民の健康増進、体力向上のためのプログラムの充実を図っていく必要がある。
	(2)	新型コロナウイルス感染拡大の渦中においても、清須ウオークをはじめ、継続したスポーツ、レクリエーション活動ができる機会を提供した結果、市民の健康増進、体力づくりへの意識向上と結びつき市民のスポーツ、レクリエーションを行う割合増加につながった。
	(3)	アルコ清洲の大規模修繕により、運営に少なからず影響が出ているものと推察する。週1回以上スポーツ・レクリエーション活動を行っている市民の割合は増加しており、これを総合型地域スポーツクラブの運営に生かすため、魅力あるプログラム等を検討し、それらを広く市民等へPRする必要がある。
	(4)	
	(5)	
	(6)	

<達成度指標の関連データ>

アルコ清洲利用者数（人） ※清須市調べ	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	100,119	134,961	254,671	303,279	151,152
カルチバ新川利用者数（人） ※清須市調べ	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
	51,730	74,005	98,073	90,164	147,796

II 事務事業評価

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を下回る・・・▲

事業名		決算額（千円） 〔執行率（％）〕		活動指標①			活動指標②		
		令和5年度	令和6年度	R6目標値	R6実績値と達成状況		R6目標値	R6実績値と達成状況	
清須ウオーク費		2, 926 〔98. 0〕	3, 009 〔96. 3〕	清須ウオークの開催回数（回）			清須ウオークへの協力団体数（団体）		
				2	2	○	9	3	▲
事業の有効性の評価		清須ウオークは、市のイベントとして定着しつつ、その認知度を活かして、市の魅力を市内外の全年齢層の方に知ってもらうことができ、さらに健康増進のためにウォーキングの機会を提供することができる。また、スポーツの普及・振興につなげることができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	活動指標の一つである開催回数と開催時期は定着化しているが、健康増進、体力づくりへの意識向上などの観点からみると参加者が減少傾向にある。実施内容、PR方法等に課題があると考えられる。							
	②	様々な団体と一致団結し、市民を中心にスポーツの普及・振興を推進するための体制づくりを進める必要がある。							
体育協会補助金		5, 034 〔100. 0〕	5, 336 〔100. 0〕	体育協会の会員数（人）			体育協会の主催大会数（大会）		
				2, 200	1, 810	▲	23	23	○
事業の有効性の評価		スポーツの普及・振興活動や健康で豊かな市民生活を展開している清須市体育協会の運営支援を行うことにより、スポーツを通して快適で魅力あるまちづくりに寄与することができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	高齢化により会員数が減少しているものと考えられ、若年層を取り込んでいく必要がある。							
	②	新型コロナウイルス感染拡大による活動の自粛、少子高齢化、生活スタイルの変化による会員や団体等の減少の中においても活動を継続する会員や団体等の事業運営の支援を行ったことにより、主催大会開催数の維持につなげることができた。							
清洲勤労福祉会館費		286, 193 〔99. 4〕	747, 183 〔99. 9〕	アルコ清洲の利用者数（人）			指定管理者が行う自主事業数（事業）		
				330, 000	151, 152	▲	70	42	▲
事業の有効性の評価		本市で最も利用者の多いスポーツ施設であるアルコ清洲の温水プールについて、指定管理者制度を活用して様々な自主事業を実施することにより、市民の健康増進・体力向上に寄与するとともに、市民の交流を促進することができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	環境整備のため、年度をまたぐ大規模修繕を実施したことから、利用者数並びに自主事業などは未達成となっている。							
	②	同上							
新川地域文化広場費		233, 045 〔97. 3〕	79, 570 〔99. 9〕	カルチバ新川の利用者数（人）			指定管理者が行う自主事業数（事業）		
				100, 000	147, 796	◎	23	29	◎
事業の有効性の評価		温水プールやアスレチックジムなどを有する体育施設であるカルチバ新川について、指定管理者制度を活用して様々な自主事業を実施することにより、市民の健康増進・体力向上に寄与するとともに、市民の交流を促進することができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	市民等の健康志向並びに体力増進への意識向上と施設の特性を効果的に活用した事業展開が活動指標の達成につながっている。また、施設の安全管理や幅広い年齢層が集い、地域の交流の場となるような事業実施等が活動指標の達成の要因と考えている。							
	②	温水プール、スタジオなど利用者の年齢層、リクエストに応える自主事業の実施については、事業数以上に評価できるものと考えられる。これらを継続的に実施することで市民の健康増進、体力向上に繋げていくことができる。							

III 施策の評価と今後の方向性

- 清須ウオークをはじめ、定着している様々なスポーツ事業について、多くの市民等に参加いただけけるよう、工夫を凝らし、参加意欲につながる内容で開催できるよう様々な団体と協力、連携し企画から運営、実施までの環境づくりを進める。また、多くの方に参加していただけるようPR方法についても検討する必要がある。
- 市民等の健康増進、体力向上等に繋げるため清須ウオーク、地区体育祭、市内施設で実施するイベント等への参加意欲を活用した事業展開に取り組んでいくこととする。
- 指定管理者制度による民間経営の発想やノウハウを活かした市民サービスの向上を図っていく。
アルコ清洲、カルチバ新川、春日B＆G体育館については、建物・設備の老朽化が進んでいたため、改修工事を実施した。これにより、快適な環境でのスポーツ、レクリエーション活動が可能となったため、指定管理者と協力、連携して施設の利用促進を図っていく。

令和7年度行政評価（令和6年度対象）シート

政策 6 豊かなところとからだをはぐくむまちをつくる

施策 605 国際交流の振興

主担当課： 生涯学習課

○施策の目指す姿

市民参加による国際交流が進展し、子どもから高齢者まで幅広い年齢層において国際理解に対する関心が高まっています。

○施策の展開

- 1 国際交流に関するイベントの開催
- 2 国際理解の啓発
- 3 国際交流活動を行う団体への支援

I 達成度指標の状況

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を達成できず・・・▲、現状値を把握していない・・・

達成度指標		基準値	後期計画 目標値	実績値			目標値の 達成状況
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	
(1)	市民満足度調査における満足度	15.8% （平成30年度）	↑ （令和5年度）	—	16.3% （令和5年度）	—	○
(2)	市や市国際交流協会が実施する国際交流に関する講座・イベント等を知っている市民の割合	24.7% （平成30年度）	↑ （令和5年度）	—	28.8% （令和5年度）	—	◎
(3)							
(4)							
(5)							
(6)							

後期計画期間の 達成状況の分析	(1)	市国際交流協会が行っている日本語教室、講座、各種イベントや国際交流員が行っている学校等における国際理解授業や生涯学習講座が充実した内容と認識されていることが満足度につながっていると推察する。
	(2)	令和6年度の市国際交流協会のイベント等の活動に関しては、市広報、国際交流協会のホームページ等で周知を図ることで講座やイベント等を知っている市民の割合が多かったと推察する。
	(3)	
	(4)	
	(5)	
	(6)	

<達成度指標の関連データ>

在住外国人数（人）※清須市調べ 〈各年4月1日〉	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1,800	1,822	1,954	2,135	2,299
きよす国際交流まつり（旧インターナショナルパーティー及び外国の遊びと日本文化体験を併合）参加者数（人）※清須市調べ	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
	—	—	220	237	254

II 事務事業評価

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を下回る・・・▲

事業名		決算額（千円） [執行率（％）]		活動指標①			活動指標②		
		令和5年度	令和6年度	R6目標値	R6実績値と達成状況		R6目標値	R6実績値と達成状況	
国際交流費		72 [96.8]	74 [97.6]	学校等における国際理解授業の実施回数（回）			友好姉妹都市提携に基づくスペイン関連事業の参加者数（人）		
				95	85	▲	60	92	◎
事業の有効性の評価		友好姉妹都市提携を結ぶスペイン・ヘレス市に関連した講座や、小学生、保育園及び幼稚園児を対象とした国際理解授業の実施などにより、幅広い年齢層の市民の国際理解に対する関心を高めることができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	目標値には若干届かなかったが、令和6年度からふれあい教室にも訪問することとなり、より多くの子どもの国際理解に対する関心を高めることができた。							
	②	目標値を上回ることができた。市民がスペイン語や国際理解に関心を持っていると思われる。							
国際交流協会補助金		400 [100.0]	410 [100.0]	国際交流協会の個人会員数（人）			国際交流協会が主催する講座等の事業数（事業）		
				220	209	▲	7	9	◎
事業の有効性の評価		様々な国際交流事業を実施する清須市国際交流協会の活動を支援することにより、市民参加による国際交流の進展を図ることができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	個人会員数はコロナ禍辺りから減少傾向にある。会員を増やすためにもイベント時に更なる周知や口コミなど積極的に行う必要がある。							
	②	目標値を上回る事業を展開することができた。令和6年度においては、一つの事業の中でも更に教室を分けるなど活発に事業を行った。							
事業の有効性の評価									
活動指標の 達成状況の分析	①								
	②								
事業の有効性の評価									
活動指標の 達成状況の分析	①								
	②								

III 施策の評価と今後の方向性

- 友好姉妹都市提携を結ぶスペイン・ヘレス市に関連して、スペインの生活や文化を紹介するなど、引き続き幅広い年齢層が国際理解に対する関心を高めることができるような魅力ある事業の実施に努める。また、市立小学校、保育園・幼稚園で行う国際理解授業などでは、幼い頃から国際感覚を養う環境を整える。
- 市が実施する講座などの国際交流事業については、引き続き広報紙やホームページを通じて周知を図るとともに、認知度の向上に向けて、より効果的な周知方法を検討する。
- 市民間での国際交流活動において中心的な役割を担う清須市国際交流協会については、その活動が活性化されるよう、引き続き連携を図りながら支援を行う。
- 社会経済情勢の変化などに伴って、今後も在住外国人が増加し続けることを見据えて、外国人住民に対する日常生活のサポート体制の充実や情報提供手段の拡充など、多文化共生社会の実現に向けた取組を実施していく。

令和7年度行政評価（令和6年度対象）シート

政策 6 豊かなところとからだをはぐくむまちをつくる

施策 606 男女共同参画社会の推進

主担当課： 生涯学習課

○施策の目指す姿

男女共同参画社会の重要性について市民一人ひとりの理解が深まり、社会のあらゆる分野において男女が互いに理解し、個人としての個性と能力を発揮できる環境が整っています。

○施策の展開

- 男女共同参画社会の啓発
- 男女共同参画推進懇話会の開催
- 相談支援体制の充実
- 委員会・附属機関等への女性の登用促進
- 特定事業主行動計画の推進
- 女性の社会参加等を推進する団体への支援

I 達成度指標の状況

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を達成できず・・・▲、現状値を把握していない・・・―

達成度指標		基準値	後期計画 目標値	実績値			目標値の 達成状況
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	
(1)	市民満足度調査における満足度	13.8% （平成30年度）	↗ （令和5年度）	—	15.6% （令和5年度）	—	◎
(2)	社会全体で男女が平等であると思う市民の割合	22.5% （平成30年度）	↗ （令和5年度）	—	17.8% （令和5年度）	—	▲
(3)	市の委員会・附属機関等における女性委員の割合	33.9% （平成31年4月1日）	↗ （令和7年4月1日）	33.0% （令和4年4月1日）	37.7% （令和5年4月1日）	40.05% （令和6年4月1日）	◎
(4)							
(5)							
(6)							

後期計画期間の 達成状況の分析	(1)	男女共同参画社会の実現に向けては、学識経験者・関係団体・市民代表者等と男女共同参画推進懇話会を年2回実施し、その内容を踏まえて市民への啓発を行った。また、男女共同計画の考え方を市民に周知する男女共同参画講演会の開催など、男女共同参画に係る市民の意識を高めるための取組を引き続き進めていく。
	(2)	時代とともに、男女それぞれで複雑な悩みを抱えていると推察する。家庭や地域社会、あらゆるコミュニティにおいて、それぞれが様々な課題について考え、行動できるよう、意識啓発や情報提供を行っており、これからも継続して実施していく。
	(3)	市の委員会・附属機関等における女性委員の登用率を各課から情報収集した結果、令和5年度実績値から比較して、令和6年度については、女性委員の割合は増加した。引き続き女性委員の登用率の維持・増加に努める。
	(4)	
	(5)	
	(6)	

＜達成度指標の関連データ＞

男女共同参画講演会の参加者数 （人）※清須市調べ	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	—	—	124	135	110
市の委員会・附属機関等における女性委員の割合（％） ※清須市調べ〈各年4月1日〉	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
	32.2	33.0	37.7	40.1	調査中

II 事務事業評価

※達成状況の凡例：目標値を10%以上上回る・・・◎、目標値を達成・・・○、目標値を下回る・・・▲

事業名		決算額（千円） [執行率（％）]		活動指標①			活動指標②		
		令和5年度	令和6年度	R6目標値	R6実績値と達成状況		R6目標値	R6実績値と達成状況	
男女共同参画社会 推進費		402 [92.8]	271 [46.8]	男女共同参画講演会の参加者数（人）			男女共同参画推進懇話会の開催回数（回）		
				150	110	▲	2	2	○
事業の有効性の評価		男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画講演会の実施などによる啓発を図ることにより、市民の認識を深めることができる。また、男女共同参画推進懇話会を開催し、講演会の内容について協議することで、多くの参加者に意義を伝えられる事業となる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	講師の都合により市の他のイベントと開催が重なったことや、参加を促した各種団体の構成員の高齢化なども目標値には及ばなかった理由と考える。男女共同参画社会の推進には、協力団体と連携しながら取り組む必要がある。							
	②	滞り無く実施できた。今後も庁内における男女共同参画の意識向上に努めるとともに、懇話会の中で男女共同参画社会の推進に向けた協議を重ねていく必要がある。							
女性の会補助金		1,130 [99.9]	1,003 [100.0]	女性の会の会員数（人）			女性の会が主催する講座等の事業数（事業）		
				436	404	▲	7	6	▲
事業の有効性の評価		文化教養を高めるとともに、社会奉仕の意識向上を積極的に展開する女性の会の活動を支援、協力することにより、女性の幅広い視野と社会参加の意識を高めることができる。また、生涯学習を通じて生きがいのある心豊かな生活を育むことに寄与することができる。							
活動指標の 達成状況の分析	①	会員の高齢化に伴い、減少傾向にあるため、目標値には及ばなかったが、会員相互が生き生きと活動ができ、女性の幅広い視野と社会参加の意識が高められる事業を企画できるよう支援していく。							
	②	会員数の減少及び会員の高齢化に伴い、閉講する教室が出てきている。会員のニーズを汲み取り、内容を見直すとともに、健康的で文化的な教室を運営できるよう支援していく。							
事業の有効性の評価									
活動指標の 達成状況の分析	①								
	②								
事業の有効性の評価									
活動指標の 達成状況の分析	①								
	②								

III 施策の評価と今後の方向性

- 男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる社会の実現に向けて、様々な機会を通じて市民の男女共同参画に対する意識の向上を図るため、今後も現在の事業を継続して行っていく。国の施策の方向性の中でも女性活躍についての施策が積極的に進められており、男女共同参画社会の実現に向けた取組の重要性が高まっている中で、様々な活動において女性の登用を高めるなど、市としても引き続き男女共同参画懇話会における議論の内容を踏まえて、施策の目指す姿の実現に向けた取組を進める。
- 女性の会の活動において、女性の幅広い視野と社会参加の意識を高められる事業が展開できるよう団体と連携を図りながら支援・協力していくとともに、会員数の維持及び増加を目指す。